



中学校 技術・家庭 家庭分野

6 教図

家庭006-72

新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する

年間指導計画作成資料

この資料は、令和7年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

※教科書の流れや記載内容をできるだけ活用した年間指導計画案を掲載いたしました。
配当時数、学習活動、評価規準などは、変更になる可能性があります。ご了承ください。

 教育図書株式会社

年間指導計画例（教科書の流れや記載内容をできるだけ活用した指導計画例）

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35									
学習題材	A編1章 家族・家庭や地域とのかかわり								A編2章 幼児の生活と家族								B編1章 健康と食生活				B編2章 何をどれだけ食べたらよいか					B編3章 調理と食文化																		
学習内容	家庭分野のガイダンス	1 家族の一員としてできることを考えよう A編1章のガイダンス			2 家族関係をよりよくなる方法を考えよう		3 高齢者とのかかわりを知ろう		4 家庭生活と地域のかかわりを知ろう		A編2章のガイダンス		1 幼児の体の発達を知ろう		2 幼児の心の発達を知ろう		3 幼児の生活習慣の身につけ方を知ろう		4 幼児の生活の特徴を知ろう		5 幼児の遊びと発達のかかわりを知ろう		6 幼児の発達を支えるおもちゃの役割を考えよう		7 幼児とくわね合せてみよう		1 食事の役割を考えよう 「食生活」のガイダンス		2 健康によい食習慣にしよう		1 栄養素の種類と働きを知ろう		2 中学生に必要な栄養素の特徴を知ろう		3 食品に含まれる栄養素を調べよう		4 1日に必要な食品の種類や概量を知ろう		5 1日分の献立を考えよう		1 食品の選択と購入について考えよう		2 購入した食品を適切に保存しよう	
授業時数	1	7							11								4				9					3																		
学習指導要領	A(1)ア	A(1)ア, (3)ア(ア), (イ), イ							A(2)ア(ア), (イ), イ								B(1)ア(ア), (イ), イ				B(1)ア(イ), (2)ア(ア), (イ), イ					B(3)ア(ア), (イ)																		

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35				
学習題材	B編3章 調理と食文化								B編4章 私たちの衣生活								B編5章 生活を豊かにする製作					B編6章 私たちの住生活																	
学習内容	3 調理の基礎を知ろう		4 肉を調理しよう			5 魚を調理しよう			6 野菜を調理しよう		7 地域の食文化を知ろう		8 和食の調理をしよう		1 衣服の動きを知ろう 「衣生活」のガイダンス		2 目的に合わせて自分らしく着よう		3 自分に合った衣服を手に入れよう		4 衣服の手入れをしよう		5 衣服を計画的に活用できるようになろう			1 布をしっかりとつむよう		「住生活」のガイダンス		1 住まいの動きを知ろう		2 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう		3 健康を守る室内環境の整え方を考えよう		4 家庭内事故から家族を守ろう		5 災害に備えた安全な住まい方を考えよう	
授業時数	13								9								5					8																	
学習指導要領	B(3)ア(イ), (ウ), (エ), イ								B(4)ア(ア), (イ), イ								B(5)ア, イ					B(6)ア(ア), (イ), イ																	

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	17.5				
学習題材	C編1章 私たちの消費生活								C編2章 消費者の権利と責任				選		択							
学習内容	1 買った物をかき返してみよう 「消費生活・環境」のガイダンス		2 契約の意味を考えよう		3 いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう		4 消費者トラブルを防ごう		5 消費者を守る仕組みを知ろう		1 消費者の権利について考えよう		2 消費者の責任について考えよう		3 消費生活が社会に与える影響を考えよう		4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう		生活の課題と実践		学習のまとめ	
授業時数	8								6				3		0.5							
学習指導要領	C(1)ア(ア), (イ), イ								C(2)ア, イ				A(4)ア, B(7)ア, C(3)ア									

そのほかの指導計画案は、教師用指導書に掲載を予定しています。

指導時数	A	B	C	生活の課題と実践	学習のまとめ	計
	19	51	14	3	0.5	87.5

家庭 006-72 『新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する』 年間指導計画例と指導と評価の計画 2年35時間

授業時数	学習内容	おもな学習活動	評価の観点			学習指導要領
			知識・技能	思考・判断・表現	態度	
1	B編3章 調理と食文化 3. 調理の基礎を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見ながら、調理の手順を確認する。 教科書を見ながら、包丁の部位や安全な扱い方を確認し、食材のいろいろな切り方を理解する。また、計量・火加減の調整についても確認する。 教科書を見ながら、調理における食中毒の予防について理解する。 加熱調理の種類と方法について理解する。 盛りつけ・配膳の基礎、食事のおもなマナーについて確認する。 後かたづけで気をつけることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理道具の正しい使い方について理解しているとともに、適切に扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の学習と関連付けて考え、基礎技能と実際の場面を結びつけて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理における安全・衛生の大切さに気づき、実習や実生活においても生かそうとする意欲がある。 	B(3)ア(イ)、(ウ)、(エ)、イ
2						
3	4. 肉を調理しよう	<ul style="list-style-type: none"> 3種類の肉の、生と加熱後の状態を比べ、気が付いたことを発表する。また、肉の種類と部位及び加熱によるたんぱく質の変性について理解する。 衛生的な取り扱いについて、教科書を参考に理解を深める。 分担して調理を行う。(グループ調理) ①計量・下準備 ②加熱調理 ③つけあわせの調理・仕上げ 椅子を準備し、試食 教科書の「ふり返る」の項目を確認しながら試食 分担してかたづけ 使用した調理器具の返却、コンロと流しの清掃、ゴミの処理、刃物の返却、ガスの元栓確認、床の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 肉の種類や特徴を理解し、調理上の特徴がわかる。 肉の基本的な加熱調理の仕方を理解しているとともに、適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 肉の加熱調理について実践を評価したり、改善したりしており、問題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理について課題解決に主体的に取り組もうとしている。 日常食の調理について課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 	
4						
5						
6	5. 魚を調理しよう	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読み、魚の加熱によるたんぱく質の変性について理解する。 魚の衛生的な取り扱いについて、理解を深める。 分担して調理を行う。(グループ調理) ①計量・下準備 ②加熱調理 ③つけあわせの調理・仕上げ 椅子を準備し、試食 教科書の「ふり返る」の項目を確認しながら試食 分担してかたづけ 使用した調理器具の返却、コンロと流しの清掃、ゴミの処理、刃物の返却、ガスの元栓確認、床の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 魚の種類や特徴を理解し、調理上の特徴がわかる。 魚の基本的な加熱調理の仕方を理解しているとともに、適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 魚の加熱調理について実践を評価したり、改善したりしており、問題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理について課題解決に主体的に取り組もうとしている。 日常食の調理について課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 	
7						
8						
9	6. 野菜を調理しよう	<ul style="list-style-type: none"> 生野菜と加熱した野菜の違いを理解する。 簡単な実験を行い、教科書で確認した内容についての理解を深める。 分担して調理を行う。(グループ調理) ①計量・下準備 ②加熱調理 ③つけあわせの調理・仕上げ 椅子を準備し、試食 教科書の「ふり返る」の項目を確認しながら試食 分担してかたづけ 使用した調理器具の返却、コンロと流しの清掃、ゴミの処理、刃物の返却、ガスの元栓確認、床の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の種類や特徴を理解し、調理上の特徴がわかる。 野菜の基本的な加熱調理の仕方を理解しているとともに、適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の加熱調理について実践を評価したり、改善したりしており、問題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理について課題解決に主体的に取り組もうとしている。 日常食の調理について課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 	
10						
11						
12	7. 地域の食文化を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 全国各地のおもな郷土料理について知る。 各地の郷土料理について興味・関心を持ち、自分の都道府県の郷土料理について、さらに調べてみる。 自分が住む地域の食材について調べてグループごとに発表する。 地域の食材のマークについて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域、または季節の食材について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食材や郷土料理について調べ、まとめて発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、地域の食文化について課題解決に主体的に取り組もうとしている。 	
13						
13	8. 和食の調理をしてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見ながら、和食の特徴をまとめる。 だしについて理解し、家庭でどのようなだしを使っているか、知っているものをあげる。 こんぶとだしの混合だしのとり方を、教科書や二次元コードの動画を見ながら理解する。 時間があるときは、だしを使った汁物や煮物を調理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食材を用いた和食の調理について理解しているとともに、だしと地域または季節の食材を用いた煮物または汁物の調理が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でのだしの使用について、発表することができる。 教科書の「地域の味」レポートで情報をまとめて発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、地域の食文化について工夫し創造し、実践しようとしている。 	
14						
14	B編「衣生活」のガイダンス B編4章 私たちの衣生活 1. 衣服の動きを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 制服と体操着(Tシャツ)の着心地を比べて、衣服の動きを理解する。 クラスで着心地や「いつ着るのか」などの違いを共有し、まとめる。 教科書で、衣服の動きや衣服の基本的な動きを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活のかかわりが分かり、衣服の基本的な動きについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択について問題を見出して課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 	
15						
15	2. 目的に合わせて自分らしく着よう	<ul style="list-style-type: none"> T.P.O.にふさわしい服装を考える。 Tシャツはカジュアルウェアであり、ワイシャツは着方などでフォーマルウェアにもカジュアルウェアにもなることを確認する。 衣服のコーディネートとその要素について理解する。 活動場面に応じた服装を考え、配慮・工夫したか発表して他の人と比較してみる。 和服の基礎的な知識を身につける。 男女のゆかたの違いをあげ、形や部分名称について知る。 自分でゆかたを着てみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活のかかわり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな場面での衣服を想像し、動きと結びつけて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の衣服について、衣服の動きを意識し、改善しようとしている。 	
16						
16						
17	3. 自分に合った衣服を手に入れよう	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択と購入のプロセスを理解する。 教科書を見て、衣服の購入の必要性を確認する。 衣服購入のために必要な情報や検討事項を確認する。 衣服を購入し、着用・評価するまでの流れを確認する。 既製服には、どのような情報が表示されているか知り、取扱い表示の例とその意味を理解する。 既製服のサイズについて理解し、採寸の方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服を適切に選択するためのポイント、衣服の表示の読み取り方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択について考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 	
18						

19	4. 衣服の手入れをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の適切な手入れをするためには、洗濯するにあたって知っておくべき点があることを知る。 教科書を参照して、綿100%の白い布に、蛍光ペンをしみをつけ、代表者がしみ抜きの実験をする。 洗剤の動きを理解し、洗剤の主成分である界面活性剤の動きについて理解する。 小学校での衣服の学習を再確認する。 教科書を見ながら、洗濯機による洗濯の流れを確認する。 粉末洗剤、液体洗剤の違いなどを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯方法、洗剤の特徴について理解しているとともに、適切に手入れができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の材料や状態に合わせた日常着の洗濯について問題を見いだして課題を設定し、考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の手入れについて、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
20					
21					
22	5. 衣服を計画的に活用できるようになろう	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を参考に、まつり縫い、スナップつけ、補修の基礎(糸通し、玉結び、玉どめ、並縫い、ボタンつけなど)を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の収納や保管の方法について理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の材料や状態に合わせた日常着の洗濯について考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の手入れについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
23					
23	B編5章 生活を豊かにする製作 1. 布を使ってつくってみよう	<ul style="list-style-type: none"> 入手から処分までの衣服計画の流れを確認する。 処分した衣服がどのような道筋を通るのかを理解し、持続可能な社会のために、自分にできることを考える。 資源や環境に配慮した衣生活を送るために、自分にできることを考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の計画的な活用について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択について問題を見出して課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
24					
25					
26					
27					
28	B編「住生活」のガイダンス B編6章 私たちの住生活 1. 住まいの動きを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの基本的な動きを理解する。 教科書を参考に、生活行為と住まいの空間について理解する。 自分の住まいの空間では、どのような生活行為をしているかを思い浮かべて具体例をあげる。 日本の伝統的な住まいの写真などを見ながら、伝統的な住まいのよいところをあげる。また、現代の住まいのよいところもあげる。 住まい方の変化や、和式と洋式の住まいの違いについて整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの基本的な機能について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの空間を自分の生活と結びつけて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 住空間の動きについて考え、家庭での生活改善に向けた意欲をもっている。
29					
30	2. 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの空間は、家族の住まい方によって変わってくることを確認する。 同じ家族であっても、年月とともに生活の仕方などが変化すること、それに合わせて住まい方を工夫していくことの重要性に気づく。 教科書のモデル家族を見ながら、住まいの空間の使い方をグループで考え、グループごとに話し合っ発表する。 間取り図を見て、その住まいでの暮らしを想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> 住生活に対する家族の思いや願いを互いに尊重しながら調整して住空間を整える必要があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
31					
31	3. 健康を守る室内環境の整え方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの中の空気の流れについて、発生源や対策を理解する。 教科書を参考に、結露やダニ、かびの害を理解し、結露の防止やダニ、かびの対策の仕方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 住居内で安全に生活できるよう住空間を整える必要があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
32					
32	4. 家庭内事故から家族を守ろう	<ul style="list-style-type: none"> 家庭内事故の対策を考える。 住まいに施された安全対策について知る。 教科書を参考に、みんなにやさしいユニバーサルデザインの住まいについて考える。 住まいの安全対策について、身のまわりで知っている例を挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭内事故の要因と対策について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫し、実践を評価したり、改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
33					
34	5. 災害に備えた安全な住まい方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 大地震の場合について、住まいの被害を理解する。 時間があれば、学校で災害が起きた場合の危険な場所を点検し、対策を考える。 自然災害への備えをグループで考える。 災害についてグループで調べたこと、考えたことを発表し、「防災〇か条」を模造する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害に備えた安全な住空間の整え方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な住まい方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫し創造し、実践しようとしている。
35					

授業時数	学習内容	おもな学習活動	評価の観点			学習指導要領
			知識・技能	思考・判断・表現	態度	
1	C編「消費生活・環境」のガイダンス C編1章 私たちの消費生活 1. 買い物をふり返ってみよう	・最近購入したものを付箋に書き、「物資」と「サービス」に分ける。 ・生活の中で消費する物資、サービスには、「必需的なもの」と「選択的なもの」があることを理解する。 ・物資、サービスの購入について、自分、家族、社会それぞれの立場で考える。 ・商品を選ぶとき何を重視するか、順位付けしてグループで意見交換する。 ・教科書を参考に、消費行動の意思決定のプロセスを理解する。 ・「欲しいもの」から1つを選び、買い物の消費行動のプロセスについて考える。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集について理解しているとともに、適切にできる。	・物資・サービスを購入する際の優先順位や、計画的な金銭の管理について考え、工夫している。	・自分の消費行動をふり返り、課題解決に主体的に取り組もうとしている。	C(1)ア (ア)、 (イ)、 イ
2						
3	2. 契約の意味を考えよう	・契約は、事業者（店）と消費者（客）がお互いに合意することによって成立し、事業者も、消費者も権利と義務が発生することを理解する。 事業者 代金を受け取る権利 / 商品を引き渡す義務 消費者 商品を受け取る権利 / 代金を支払う義務 ・未成年者取消権について知り、行使できる場合、できない場合をまとめる。 また、未成年者取消権がある意味を考える。	・売買契約の仕組みや、契約によって発生する権利と義務について理解している。	・売買契約の仕組みについて問題を発見し課題を設定している。	・中学生も契約にかかわっていることに気付き、課題解決に主体的に取り組もうとしている。	
4	3. いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう	・店舗販売と無店舗販売について理解し、自分や家族が購入したものを、店舗販売と無店舗販売に分ける。また、それぞれの特徴（長所と短所）を考える。 ・支払いの種類と方法、特徴、長所と短所を話し合う。 ・教科書を参考に、キャッシュレス決済の活用についてグループで考え、まとめる。 ・教科書を参考に、クレジットカード（後払い）の仕組みを調べ、長所、短所を話し合う。また、クレジットカードは、三者間契約であることを理解する。 ・物資やサービスの購入とその支払いの方法について、自分の生活でどのようなことを考えたらよいかをまとめる。	・さまざまな販売方法や支払い方法について、その特徴やメリット・デメリットについて理解している。 ・クレジットカードの三者間契約について理解している。	・自分や家族の買い物場面を思い出し、どのような販売方法や支払い方法だったかまとめられている。 ・キャッシュレス決済の多様化について、注意点とともに考えることができている。	・中学生も契約にかかわることに気付く、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・これからのキャッシュレス社会を見据え、自分や家族の生活と結びつけて主体的に取り組もうとしている。	
5						
6	4. 消費者トラブルを防ごう	・消費者トラブルについて知り、起こる理由を考える。 ・消費者と事業者間の情報量や交渉力の格差を埋めるためには、どうしたらよいか考える。 ・情報を理解しないことが、消費者トラブルが起こる一因となることに気づき、家庭にあるいろいろな商品の表示や説明書などを調べてみる。 ・「悪質商法などの例」や「消費者トラブルの例」を調べて発表する。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの選択に必要な情報を活用した購入について考え、工夫している。	・身近に多くの消費者トラブルがあることに気付く、課題解決に主体的に取り組もうとしている。	
7	5. 消費者を守る仕組みを知ろう	・消費者を守る法律があることを理解する。 「消費者契約法」「特定商取引法」「製造物責任法」「消費者基本法」などの意味を調べてまとめる。 ・クーリング・オフ制度を理解する。 ・消費者トラブルについて相談できる機関があることを理解し、地域の消費生活センターについて調べてみる。 ・教科書を参考に、消費者トラブルの解決への流れをグループでシミュレーションし、消費者トラブルの解決のための行動の意味を考えてみる。	・消費者を守る法律や制度について理解している。	・消費者トラブルの対処について問題を発見して課題を設定し、考え、工夫している。	・よりよい生活の実現に向けて、消費者トラブルを解決するための行動について考え、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
8						
9	C編2章 消費者の権利と責任 1. 消費者の権利について考えよう	・消費者の権利とは何か、学習する。 ・消費者の権利についてまとめ、理解する。 ・消費者の権利は、消費者基本法によって定められていることを知る。 ・教科書 p.248 の「考えてみよう」について取り組み、どんな権利が侵害されているか、グループで話し合う。	・消費者の権利について理解している。	・自立した消費者としての責任ある消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・消費者の権利について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。	C(2)ア、 イ
10						
11	3. 消費生活が社会に与える影響を考えよう	・教科書を参考に、エシカル消費の例について生産の背景と購入した場合のメリット・デメリットを考え、グループで共有する。 ・社会的消費、エシカル消費について理解する。 ・買い物はお金の投票であり、エシカル消費、本物を購入することなど、社会的な視点をもつことを理解する。 ・教科書を読み、消費者市民、消費者市民社会について理解し、まとめる。	・買い物の社会的な意味や、自分たちの消費行動が社会に及ぼす影響について理解している。	・これからの生活を展望し、環境に配慮した消費行動についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・自分たちの消費行動が社会に及ぼす影響を考え、自らの消費生活を社会に配慮して変えていこうとする意欲がある。	
12						
13	4. 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	・4つのグループに分かれ、以下の4つの課題解決に対する調べ学習を行う。 A. プラスチックごみ / B. 食品ロス C. 循環型社会（3R） / D. 水資源 ・環境に配慮した生活を送るために、自分や家族にできることは何か、考える。 ・「環境に配慮した行動」を送るために自分たちができること・気をつけることを話し合い、話し合ったことを標語にしてグループごとに壁新聞づくりを行う。	・私たちの消費生活が環境に与える影響について理解している。	・持続可能な社会の実現に向けて、消費行動についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、自立した消費者としての消費行動について工夫し創造し、実践しようとしている。	
14						
15	【選択】生活の課題と実践	・生活をよりよくするための、生活課題と実践にチャレンジする。 ・実践した結果を評価・改善するとともに、新たな課題を見つけ、次の実践に取り組もうとする。	・生活の課題と実践の流れと、意義について理解している。	・自分や家族の生活、または地域の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題解決に向けて、計画を工夫している。	・自分や家族の生活、または地域の生活に関する課題解決に主体的に取り組もうとしている。	A(4)ア、 B(7)ア、 C(3)ア
16						
17						
17.5	0.5	学習のまとめ				